



シェイクスピア
没後400年

北大総合博物館・日本英文学会北海道支部ジョイント企画／博物館オープン記念

シェイクスピア、ポプラチェンバロと出会う

～レクチャー付きコンサート：王政復古期のシェイクスピアとその音楽～

日時：2016年7月31日（日）午後2時開演（入場無料）

場所：北海道大学総合博物館（北10条西8丁目）1階ホール（知の交流）

主催：日本英文学会北海道支部、北海道大学総合博物館

後援：札幌市、札幌市教育委員会

【出演者・講師】

小出あつき（ソプラノ）
森洋子（チェンバロ）
雪田理菜子（総合博物館チェンバロボランティア）
佐々木和貴（秋田大学教授）
本堂知彦（北海道教育大学教授）

【演奏曲目】

『ウィンザーの陽気な女房たち』から
ダウランド：運命はわが敵 (Fortune my foe)
作者不詳：グリーンスリーブズ (Greensleeves)
『十二夜』から
パーセル：音楽が恋の糧ならば (If music be the food of love)
『真夏の夜の夢』
パーセル：歌劇「妖精の女王」から
“嘆きの歌”(The Plaine: O, let me weep) 他

【要旨】

ピューリタン革命によって劇場は封鎖され、イギリス・ルネサンス演劇の輝かしい伝統は断ち切られました。王政復古とともに劇場は再開しますが、すでに演劇を取り巻く状況は大きく変わっていました。シェイクスピアは自由に翻案され、時代の嗜好を反映してオペラに仕立てられさえました。シェイクスピア没後400年を迎えた今年、日本英文学会北海道支部が、北大総合博物館とのジョイントイベントとして、王政復古期のシェイクスピア上演を、学術・音楽の両面からご紹介します。

問合せ：日本英文学会北海道支部・奥（Tel：011-706-5370）
北海道大学総合博物館（Tel：011-706-2658）

